

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県 今別町

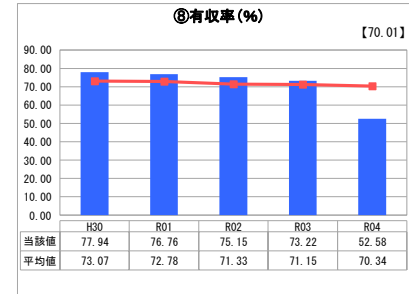
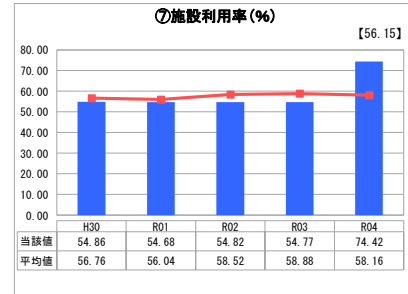
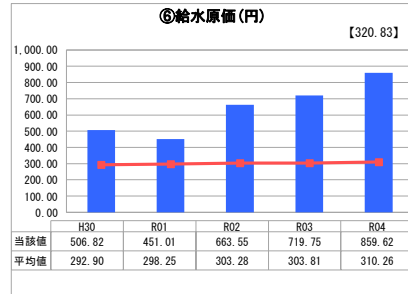
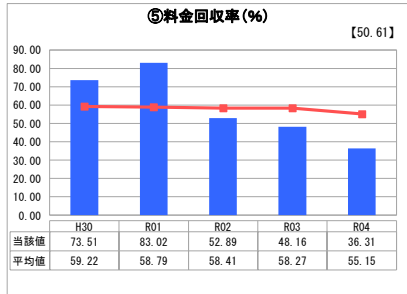
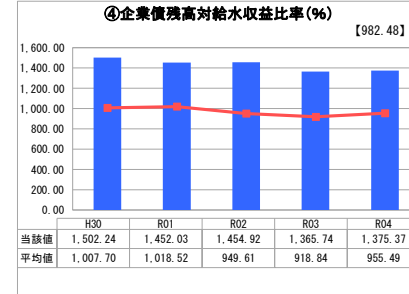
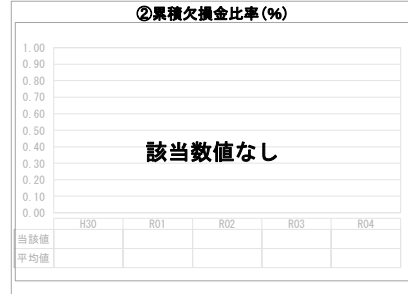
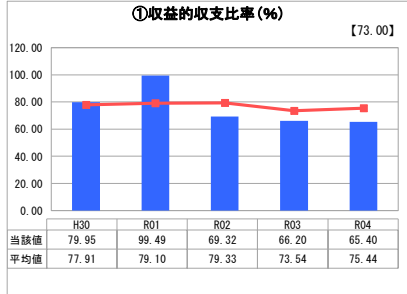
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非通用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	該当数値なし	98.19	6,520	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,311	125.27	18.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,218	12.50	177.44

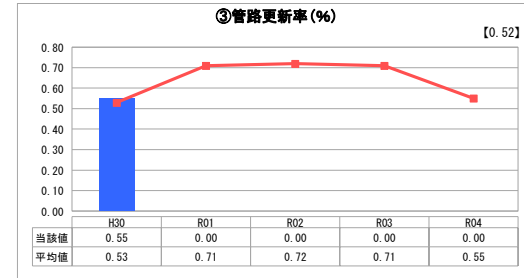
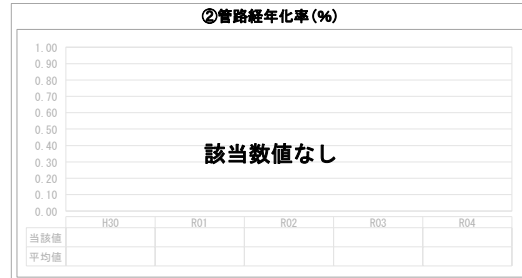
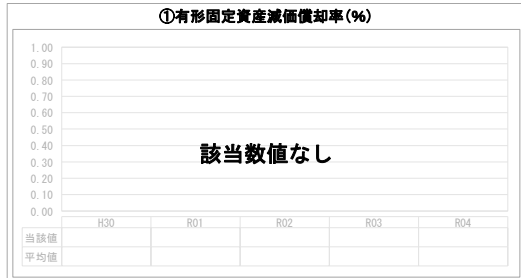
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①類似団体平均値を下回っており、平成27年度、28年度に実施した簡易水道統合せ業の影響であり、統合前簡水の維持管理費等支出が増え収支比率が悪化している。使用料金では賄えていないため、一般会計からの繰入金により補っている状況である。

④平成27年度、28年度に実施した簡易水道統合せ業以降、大規模な施設及び管路更新は行っていないため、緩やかな減少傾向となっている。

⑤類似団体平均値を下回っており、減少傾向にある。自然減、社会減による人口減少の影響、給水原価の高騰とコロナウイルス感染症対策として実施した水道使用料の減免によるものである。

⑥企業債償還金の増額と人口減少による有収水量の減少により大幅な高騰となっているため、経費削減や有収率の増加に努める。

⑦大雨災害により本管が破損し、大規模な漏水状態が続き、水量が増加したため。

⑧消防用水、基幹管路以外の支管、漏水が問題と思われるため、有収率の向上対策を講じる必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管路更新について平成5年度から20年度にかけて老朽管更新事業により配水管が更新されている。平成30年度には広域消防分署新築に伴う管路更新工事が実施されたため、更新率の上昇が見られた。経過年数と現状を踏まえ、更新事業を計画的に実施する必要がある。また、建物・電気設備等については、継続的に保守管理に努め、耐用年数を経過した設備については更新を行う必要がある。

全体総括

引き続き企業債償還により高額支出が見込まれる。施設の維持管理に努めるとともに、毎月の検針業務により漏水の早期発見、早期回復による供給欠損の減少を図っていく。料金収入の減少も踏まえ、それに見合った施設運営が必要であると考えられ、少子高齢化・人口減少による給水収支の悪化も懸念されるため、料金改定について検討し、財源確保に努める必要がある。